

株式会社浅野製版所

制度の導入・見直し

両立支援の環境整備



育成方法や評価制度の見直しで早期退職を予防 社内風土が変わり、生産性も向上



経営企画部 課長
産業カウンセラー
新佐 絵吏様

採用基準を見直すことで女性が増加し
長く働ける企業風土へ

株式会社浅野製版所は、新聞、雑誌等のデザインやDTP作業、画像処理等を行う広告印刷会社です。最近では製版業のみならず、広告に関するデジタルメディア等の分野も手掛け、企画立案から納品まで、ワンストップでサービスを提供しています。

平成24年までの悩みは、新卒入社の社員が長続きしないことでした。広告関連は人気職種ということもあり、採用には苦労しないものの、3年以内に離職してしまう人が多く、老舗企業ながら社員の平均年齢は30歳未満でした。この課題を解決するため、採用と働く環境の改善を行いました。採用については、これまで「長時間労働に耐えられる体力のある人」という基準で男性を多く採用していましたが、就業年数を確認したところ男女差はなかったため、実力重視の基準に変えました。これにより、女性の採用が増加し、平成25年には3名中2名、平成26年

には6名中6名の女性社員が入社しました。また、結婚・育児等のライフイベントによる退職を防ぐため、育児中の女性を採用して育児と仕事の両立のイメージを持ちやすくしたり、出勤時間を7時から14時までの7種類から選択できる制度を導入したりと、環境整備を行いました。

こうした取組を通じて、男性中心だった社内風土が大きく変わりました。女性社員の増加が、これまでの若手育成の方法を見直すきっかけとなり、管理職は経営企画部と相談しながら、教育や業務の進め方を工夫するようになりました。また、社員は互いに相談し、教え合う雰囲気が生まれました。こうした変化が、更に次の世代へと受け継がれ、長く働ける環境が続いていくことを願っています。

社員が納得できる公平な評価方式や 業務進行・管理の方法を採用

社内風土の変化に伴い、評価制度も変更しました。それまでは、部署ごとに評価を実施していましたが、上司の主観に左右されないようにするため、全管理職が全社員を評価する形に変えました。この評価方法によって、男女関係なく、給与や昇進昇格において公平に評価を受けることができるようになりました。昇格の理由も明確になり、平成29年に実施した社内アンケートでは、評価に対する納得度が90%を超えました。

業務面においては、案件ごとに2名以上のチームを組

み、クラウド上でスケジュール共有したり上司の承認を得られるシステムを導入しました。また、外出中も業務を滞らせることなくスムーズに仕事ができるよう、モバイル機器を整備しました。こうした取組により、業務量の平準化と効率化を実現し、チームメンバー間で情報共有が円滑にできるようになりました。



20代女性管理者としてチームを牽引

制度整備により新卒者の離職が減少 職場環境の改善により生産性が向上

制度や職場環境を改善したことにより、例えば、育児中の社員が子供の看護等で急に休暇を取得しても、日頃からの情報共有のおかげで、別の社員がスムーズにお客様対応できるようになりました。また、新卒入社の子の3年以内の離職が減少しました。最近では、一度他社へ転職した社員が、転職を機に同社の良さを再認識し、再雇用となったケースもありました。

こうした取組により、平成26年と比べた令和元年の生産性は約1.5倍、残業時間は平成24年の平均37時間から令和元年に平均20時間未満まで削減できました。

働きやすい職場作りは、性別に関係なく、ライフイベントに変化があっても長く働き続けられる安心感を醸成すると共に、業務の効率化においても効果を発揮しています。

きっかけ

新卒入社の社員が3年以内に離職してしまうことが多く、社員の平均年齢が30歳未満であることや、結婚や出産によるライフイベントを理由に退職してしまうことを防ぐのが課題でした。

取組

実力重視の採用方針に変更し、女性社員の採用が増加。また、全管理職が全社員を評価する方式を導入し、公平な評価を実現しました。さらに、出勤時間を選択できる制度やクラウドによる情報共有、チームによる業務体制等、働きやすい環境を整備しました。

効果

社員育成の風土が生まれ、入社3年以内の離職が減少しました。また、制度の定着に伴い、子供の看護等による急な休暇取得に対しても社内サポートができるようになりました。さらに、残業を削減しながらも生産性は5年前と比べ約1.5倍となりました。

女性社員VOICE



営業部 主任
小嶋 都様
平成26年入社

若手と管理職をつなぎ 会社や部をより良くしたい

新卒入社後、営業部に配属され、現在6年目となります。入社3か月で新規案件を獲得した時には見積書も書けませんでした。上司にサポートしていただき、仕事の楽しさや喜びを知りました。早々に成功体験を得られたのが良かったと思います。

令和元年に主任に昇格しました。辞令を受けた時は、努力が認められた嬉しさの一方で、「20代の私にはまだ早いのではないか」という不安もありました。しかし、それまで営業部には女性管理職がいまませんでしたので、部下や後輩のロールモデルになりたいという気持ちになり、今では自分の役割を全うしたいと考えています。

管理職としては、若手の成功体験を創出しながら、チームの業績も上げることの大変さを実感しています。最近では、チーム力強化や若手の不安軽減を図るため、上司を交えたディスカッションの機会を作り、その進行役にもチャレンジしています。

今は、上司の気持ちも若手の気持ちも両方理解できる立場なので、双方の距離を縮めることができるよう心掛けています。今後も、部下や後輩が頑張りたい組織を作るため、自ら発言していこうと思っています。

DATA

従業員数	男性26名 / 女性18名
平均年齢	男性40歳 / 女性34歳
平均勤続年数	男性12年 / 女性6年
管理職数	男性13名 / 女性4名

概要

株式会社浅野製版所

住所 | 東京都中央区築地3-14-2

設立 | 昭和24年3月

業務内容 | 画像処理・デザイン・プランニング・DTP
フォトタッチ・印刷関連事業

HP | <https://www.asanoseihanjyo.co.jp/>